

とこなめサステナブル共創型オンデマンド交通実証事業（愛知県常滑市）

買い物・福祉 × 交通

国土交通省

事業実施主体

【共創プラットフォーム】
とこなめサステナブル公共交通推進プラットフォーム
【実施主体】常滑市
【共創パートナー】
サンレー交通、知多乗合(交通) WILLER(オンデマンド導入)
常滑市社会福祉協議会(福祉) イオンモール常滑(商業)
とこなめ観光協会、愛知国際会議展示場(観光)

地域課題

常滑市は自家用車の依存度が高いが、単身高齢者が増加しており、車で移動ができない、周りに頼れる人がいない人が確実に増加する見込みであり、地域で元気に暮らし続けられる環境が求められている。

実証事業の内容

- 人流データ分析やタウンミーティングを通じて住民の移動ニーズを抽出し、既存のバス路線と連携するAIオンデマンド交通を展開する。
- 移動手段とセットで、外出意欲が高まるイベント等の情報を発信し、お出かけによる住民の健康増進を図る。
- 観光客の移動を取込むことで、ビジネスモデルとしての持続可能性を高める。

今後の展開

- 住民や共創団体との意見交換により適宜サービス内容を見直し、AIオンデマンド交通サービスの継続運用を図る。
- EV化や自動運転化による持続可能なサービスを見据えるための中長期目標を設定する。

事業実施区域



・常滑市北部、中部及び、空港島
・事業実施区域のうち、具体的な運行エリアは既存交通事業者との協議やタウンミーティングを通じて決定

出典：国土地理院ウェブサイト(地理院地図を加工して作成)

事業体制

